

地元産有機酒造好適米を原料とした 有機認定酒（日本酒）の製造開発と販売力の強化

日本四名山のひとつ、大山のふもとに位置する倉吉市は、山陰有数の米どころ。明治10年に創業した中井酒造株式会社は、この地で酒づくりを始めて130余年の歴史を刻む。冬は酒づくり、夏はビールの販売を行い、関金温泉の旅館を取引先に大きく成長した。

しかし、規制緩和による自由化の



代表取締役 中井 俊郎

略歴 昭和22年生まれ。同44年駒沢大学卒業、飯田商店に入社。同47年中井酒造株式会社入社。同55年代表取締役就任。

波が押し寄せると、売り上げは一転して下り坂に。4代目の中井俊郎社長も、自社の酒づくりについて考え直さなければならなくなった。

「米づくり」からの酒づくり

生き残るためには、地域の良さを活かした特色ある商品が必要だ。中井社長はそう考えた。

「倉吉には、大山の伏流水という最高の水がある。ここで育った酒米で、生産者の顔が見えるおいしいお酒を安心して飲んでもらおうと、自家製の酒米による酒づくりに取りかかりました」

会社のすぐ裏にある自家水田で、酒米づくりを始めた。大山の万年雪が長い年月を経てろ過された伏流水。これを地下50メートルの深井戸から汲み上げ、仕込みをはじめ酒づ

くりのすべての工程で使用した。

さらに中井社長は、地元農家に酒米の契約栽培を持ちかける。

「酒づくりを農家の方が、米づくりを我々が体験することで、お互いの理解が深まり、品質の向上につながる」と考えた。倉吉市野添地区の農家と契約し、酒米の契約栽培を始めた。田んぼには合鴨を放ち、できるだけ農薬を使わずに、減農薬有機肥料栽培米「五百万石」を育て上げた。この酒米を使ったお酒「野添」は、都内で頒布会を行うなどして少しずつ取引先が増えてきたんですが、今度は「有機のお酒もできな

全国に先駆けた 有機酒の製造

有機認定酒に取り組む蔵元は、全

国でも数社しかない。やはり平坦な道ではなかった。

「有機酒の認定を受けるまでの過程は、試行錯誤の連続でした。まず、周辺の農家にあたり、考え方を理解してくれる所を数年がかりで探し取りました。そして、鳥取市で大規模な有機米栽培に取り組み気高オーガニック倶楽部と契約。ここで育った「山田錦」が、有機酒造好適米としてJASの認定を受けました。さらに酒づくりのスタッフにヒアリングし、有機の酒を最優先でつくって他の酒を後から、という製造の順番を徹底したんです」

産業技術センターにも指導を受けながら、有機米での酒づくりを開始。農家の協力と自社工場の厳密な工程管理により、鳥取県で初めて有機農産物加工酒類製造許可を受け、有機認定酒「純米吟醸黒門」「純米大吟

醸原酒黒門」が完成した。その後、野添の「五百万石」も有機酒造好適米として認定されている。

さらなる販路の拡大

「安心・安全、そしておいしい」をコンセプトにできあがった有機認定酒。高めの値段設定にもかかわらず、東京のデパートでも売り切れが続出した。百貨店と商品の共同開発も行っている。その販路は国内にとどまらず、香港、上海、台北にまで及ぶ。世の中の流れをうまくとらえたといえるだろう。

「有機酒の魅力は、飲み飽きしないすっきりした味。そういう良さを、地元はもちろん、県外や海外の方にいかにつけていただくかが今後の課題です。農家とさらに密なコミュニケーションをとり、PRできる機会を積極的につくって、広い範囲で販売していきたいですね。そうしなければ、協力していただいた地元の方々への恩返しにもなると 생각합니다」

Information



事業概要

全国で有機認定酒に取り組む蔵元が数社しかない中、地元の有機栽培認定農家の協力と、当社加工場の厳密な工程管理の確立により全国に先駆けて有機酒造好適米（山田錦）を原料とする有機認定酒の製造を開始した。本事業では、これまでの取り組みを踏まえ、地元の農家との連携を強化し、有機酒造好適米の作付面積の計画的な拡大を図って「環境保全型農業」を普及するとともに、有機認定酒の国内外への販路を拡大する。

売れる商品づくり

競争力 有機栽培が難しい酒造好適米の最高峰である「山田錦」を安定して確保できること、先発メーカーとしての優位性を最大限に発揮する。

市場性 有機食材並びに有機加工食品に対する関心・ニーズは着実に高まっており、デパートをはじめ流通業界からの引き合いも年々大きくなっている。

販路 国内ではデパート向け並びにネット販売を強化し、今後は有機への関心が高い香港、台湾、アメリカへの販路を拡大する。

地域資源における

関係事業者との連携

営農指導については県農林水産部、地元JAと、販路開拓は県商工労働部、ジエトロと、そして商品開発では県産業技術センター、鳥取大学とそれぞれ連携して取り組む。

【活用する資源】

鳥取の日本酒

【地域】 鳥取県倉吉市
【認定日】 平成19年12月7日
【認定行政庁】 経済産業省、財務省

中井酒造 株式会社

所在地 ● 鳥取県倉吉市中河原 555
TEL ● 0858-28-0821
URL ● <http://www.yasio.net/>
設立 ● 明治10年
資本金 ● 5,500万円
従業員数 ● 15人

● 会社事業内容
酒類の製造・販売。創業以来130年、「安心・安全、そしておいしい」がモットー。自家水田で育てる特別栽培の酒米と、地下50mから汲み上げた伏流水を使い、こだわりの原料と高い技術で高品質な日本酒づくりを行っている。



鳥取県



Tottori no Nihonsyu